

小松高校 「進路実現を目指して」

生徒用

～足場固めの12ヶ月 (1年6月～2年5月)～

	1年生 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2年生 4月	5月	
主な行事	総体・総文 北信越大会 学問適性測定 (R-CAP)	学部・学科説明会 文理選択説明会 進路説明会 (保護者向け) 終業式 夏季休業	大学見学会 ハイトップ集会 オープンキャンパス参加 夏期補講 始業式・記念祭	記念祭 新人大会(前期) 進路希望調査			文理・科目選択締切 新人大会(後期)	終業式 冬季休業 特別学習会	始業式 進路希望調査 (大学入学共通テスト)		卒業式 生活学習実態調査 卒業生による 進路講話 終業式 春季休業 特別学習会	始業式・入学式 教科オリエンテーション 進路希望調査 生活学習実態調査 報告会	
重点テーマ	学習スタイルを確立しよう		大学での学びを覗いてみよう		文理選択と高い進路目標を意識		習得・定着型から探究型への意識		高1範囲の総復習(今までの模試の見直しによる入試基礎力強化)			文理別の学習のスタート 苦手科目を把握し克服しよう	
日進々磨の学習ポイント	科目ごとの予習→授業→復習の流れを把握し、リズムを確立 ・定期テストに向けた勉強の仕方を確立する ・部活動と勉強を両立するための生活習慣を確立する		大学見学会での082との交流や、オープンキャンパスを通して、自分の将来について考える ・1学期より残した部分や国数英の苦手項目に関してここで早めに対処する ・補習、課題、部活、記念祭、すべてを成功させるために計画的に行動する		将来やりたいこと、自分の得意、興味関心を意識した選択を ・記念祭ムードからの切り換えが大切 ・夏休みの成果を見るつもりで各試験に臨む。		自分の現状を把握しなせし、弱点を客観的に知る →現在必要なことは何か考える ・「与えられる学習」から「自ら求める学習」に取り組もう。まずは、先生への質問を頻繁に ・難関大志望者は特別学習会に出席して、応用力を鍛え始める時期		高1範囲の国・数・英の2ヶ、モを2年に持ち込まずこの時期の学習姿勢が2年度以降からの飛躍に大きくかわる ・基礎力は1年で固める →単語・文法・公式を徹底的に頭にいれる ・校内模試や、初めてとなるハイレベルな校外模試の結果を受け入れ今後の学習に生かす			国数英の苦手科目に集中した学習 ・新しい授業の流れを確認し、学習リズムを確立する ・夏季休業までに、文系は地歴、理系は理科における基礎固めを行う	
定期試験	期末考査				中間考査		期末考査		学年末考査			中間考査	
模試	英検	進研総合学力テスト		第1回校内模試	進研総合学力テスト 英検		第2回校内模試	進研総合学力テスト 英検	駿台全国模試	学習実態調査 (学びみらいPASS)	校内学力テスト		
模試の意義	英語の4技能の力を試す	初めての全国レベル模試 現段階での全国における自分のレベルを知り、今後の学習に活かす		夏休みに弱点を克服できたか確認する	1年生前半での既習内容の定着度を確認する		真面目に課題に取り組み力をつけることができたか確認 高校における学習成果が最も出やすい時期の試験	基礎力の定着とこれまでに1番レベルが高い試験で応用問題への対応力を試す	大学入試の基礎事項が網羅的、段階的に出題される現時点での弱点を確認しよう				

～踏ん張り・やり繰りの12ヶ月 (2年6月～3年5月)～

	2年生 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3年生 4月	5月	
主な行事	総体・総文 北信越大会 進路講演会 修学旅行 高大接続説明会	終業式 夏季休業 韓国科学交流	大学見学会 インターンシップ オープンキャンパス参加 夏期補講 始業式・記念祭	記念祭 新人大会(前期) 関東ユースフェスティバル 進路希望調査 キャリア行事	進路講演会		新人大会(後期)	海外交流研修 韓国科学交流 終業式 冬季休業 特別学習会	始業式 (大学入学共通テスト) 3年0学期閉会式 「第一志望」 進路希望調査		卒業式 生活学習実態調査 卒業生による 進路講話 終業式 春季休業 特別学習会	始業式・入学式 進路希望調査 ハイトップ集会 生活学習実態調査 報告会	
重点テーマ	文武両道再確認！ 苦手科目を克服しよう		「何を学びたいのか？」 学部・学科を考えよう		入試に向けて、学習意欲を高めよう		高校生活の折り返し地点 = 受験勉強をスタートさせよう		3年0学期！ 進路目標に向けて、自律的な学習をしよう			いよいよ受験生！ 部活動との両立をやり切る！	
日進々磨の学習ポイント	国・数・英の基礎固め ・苦手科目には毎日触れる ・数学・英語は毎日 ・SNS単体では毎日10分 ★平日3h 休日5h		各種試験見直し ↓ 弱点補強 ・弱点補強のための課題を自ら考え実践 ・文系の地歴、理系の理科において、1科目は苦手分野をなくす ★毎日5h以上		国・数・英、応用力の養成 ・入試を意識し、ハイレベルな問題にも取り組む 理・地歴本格的に開始 ・授業一復習を徹底して基礎をたたく ★平日3h 休日5h		進路希望を明確にし、日々の学習につなげよう ★平日3h 休日5h		この時期の学習姿勢が3年夏以降からの飛躍に大きくかわる 既習学習(=共通テスト範囲)の総復習 ・完全に弱点をなくしてしまおう ・習得・定着型から探究型重視へ移行 ・初のマーク模試で6教科の弱点を分析 ★平日3h 休日5h ★休業中 毎日6h以上			メリハリある学習サイクル ★学習必須(入試問題演習が増大)予習→授業→復習 ・最後の総体までのやり繰りが大切 ★平日3h 休日5h	
定期試験	期末考査				中間考査		期末考査		学年末考査			中間考査	
模試	英検	進研総合学力テスト (国数英)	全統高2模試 (国数英)	第1回校内模試 (5教科) 高2駿台全国模試 (国数英)	進研総合学力テスト (5教科) 英検		第2回校内模試 (6教科) 進研総合学力テスト (5教科) 英検	(難関大志望者) 高2駿台全国模試 (国数英)	学習実態調査 (学びみらいPASS)	第1回校内模試	全統記述模試		
模試の意義	全国での自分の今のレベルを知る		1年半後、ライバルとなる相手の実力、その中における自分の力を知る	夏休みに弱点を補強できたかどうか確認する	初めての5教科全国模試！全国内での自分の総力を知る		3年0学期に向けて真面目に課題に取り組めたかを確認 全校内での自分の総力を知る	これまでの記述力を確認 入試レベルを体験 共通テストを知る	2年次の1年間での伸び幅と3年スタート時の自分の位置を確認する		全国内での自分の記述力レベルを知る		

～最後までやり抜く9ヶ月 (3年6月～3年3月)～

	3年生 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
主な行事	総体・総文 北信越大会 学年集会 進路講演会	終業式 夏季休業 前期夏期補講	後期夏期補講 始業式・記念祭	記念祭 進路希望調査 共通テストへの準備	大学入学共通テスト 出願		終業式 冬季休業 ファイナルゼミ 共通テスト直前演習 ① 共通テスト直前演習 ②	共通テスト直前演習③ 始業式 大学入学共通テスト 共通テスト自己採点とスタートアップ演習 特別補講(前期)	私立大学入試 国立大2次出願 3年出願 終業式 特別補講(後期) 国立大前期試験	卒業式 国立大前期試験 合格発表 国立大・後期試験 国立大中期試験 合格発表 履修式 卒業生集会				
重点テーマ	本格的な受験モードへ生活サイクルの変更と確立 弱点科目の強化		夏期補講の有効活用 目標に向けた計画的な学習 記念祭活動とのやり繰り		記念祭からの切り換え 共通テスト出願		記述力の充実から 共通テスト対策への移行 志望大学の個々の戦略計画 オープン・実戦模試の参加 よい実戦態勢へ		受験大学は最後は自分が決定 その目標にぶれずに邁進 「この1ヶ月が1番伸びる時期」		到来につながる大切な1ヶ月			
日進々磨の学習ポイント	授業と放課後補習の活用の徹底と探究型学習充実 ・学校中心のリズムを(休日も大いに)先生を大いに活用し、積極的に質問をする 「弱点教科克服」の計画 ★平日4h、休日8h以上		(記念祭前・中) 毎日の継続が1番重要な時期 ★夏季休業中は(補講日) 毎日5h以上(休日) 毎日10h以上		(記念祭後) 最も差がつきやすい1ヶ月 ・量・質とも充実を見込み、志望大学の入試問題への到達度を確認 ★平日4h、休日10h以上		最も模試が多い期間 数々の模試への取り組みと見直し ・必ず試験後、すぐ見直し ・文系、理系の共通テストと2次の学習量の配分の違いに注意 さらに(金大レベル志望者) 授業は共通テスト対応へ移行(難関大志望者) 期末考査まで記述中心		マーク式解法の習得等の実戦力強化 共通テスト後→記述力の「ハビリ」 「スタートダッシュ演習」 ・文系は「記述答案づくり」、理系は「数学Ⅲ」の実力回復に集中 「学習時間の安定」 ・科目数減少からの学習時間減少は命取り		演習の量・質の増大 実戦力の完成 ・赤本で志望大学の問題を実際の試験時間で解く 「答案づくり」の徹底 「(「答目を目指す問題」)「部分点狙い」などの判別)		(教科試験) 前期試験学習の復習が主 (教科外試験) 小論文(総合問題)面接試験は、担当先生を大いに活用	
定期試験	期末考査				中間考査		期末考査							
模試	進研共通テスト模試	進研総合学力記述模試 (5教科)	全統共通テスト模試 「オープン・実戦外部模試」 (各大学別) 全統記述模試	第2回校内模試 進研共通テスト模試	進研記述模試 全統記述模試	進研共通テスト模試 第3回校内模試 「オープン・実戦外部模試」 (各大学別)	全統共通テスト模試 駿台共通テスト模試	(共通テスト直前演習を実施) 共通テスト終了後、東京・京都大受験者のみ駿台大実戦、河合塾オープン直前模試実施	中旬に、数学と理科の科目において、個々の受験大学に対応する「シミュレーション模試」を実施					
模試の意義	「5教科記述力」到達度確認	初の共通テスト模試と記述のドッキング判定であり、今夏の計画作成の貴重な資料となる	現在値を確認秋に向けてのステップ	夏につけた実力を、記述・マーク模試で測る	外部模試において最重要であり、共通テスト後のドッキング判定で使用される	秋のオープン・実戦模試は真の実戦力が試される	データ判定が届く、最後の共通テスト模試	実際の共通テストの受験番号で着席 いろいろな難易度の共通テスト模試に対応できる能力を試す	残り2週間における「最後の詰め」の貴重な試験である					